



昭和 57 年 第 64 回大会、1 回戦。横浜スタジアムでの西湘高校初公式戦、対吉田島農林戦に勝利

野球部の誕生秘話

高梨 幹也（24 回生）

西湘高校に入学した当時、私が所属したのはまだ野球同好会というサークル的な活動に過ぎませんでした。部活動をどこに入るか迷っていた私を、先輩が熱心に誘ってくれました。その先輩の意気込みは強く、「何とかして野球部に昇格させたい!」という熱意がひしひしと感じられました。多くの男子生徒が在籍し、運動が盛んな西湘高校に野球部が存在しないのは不思議で仕方ありませんでした。

その必死な誘いに共感し、私は勉強と運動の両立を目指す中で、これまでに感じたことのないワクワク感が湧き上がり、入会を決意しました。放課後の16時から始まる練習は、校舎の隅でのキャッチボールからスタートしました。周りでは、ラグビー部やサッカー部、陸上部が広い運動場でのびのびと練習していましたが、野球同好会は肩身の狭い思いをしながら練習を続けました。キャッチボールや簡単なバッティングが練習の主でした。

国語科の赤池先生が顧問として時折訪れ、ノックの練習を手伝ってくれましたが、バッティング練習は他の部への配慮からほとんどできませんでした。このままでは野球部に昇格できるのか、不安が募っていましたが、顧問の話では、部昇格のためには練習実績が重要だということで、グラウンドの隅での練習だけでは不十分で、しっかりと野球ができる環境での練習が求められていたのです。

そこで、顧問の知り合いからのご縁で、大井町のNEC工場建設予定地が練習場として使えることになり、さらに、小田原城下の野球場、西湘近くの会社の野球場、中学時代の友人の空き地、開成町の線路下グラウンド、旧山北高校のグラウンドなどを利用し練習を重ねました。無料で使える場所を交渉し、断られることもありましたが、広いグラウンドでの練習実績を着実に積み上げていったのです。

距離の問題はありましたが、多くのメンバーが練習に参加し、その努力は西湘高校内で評判になり始めました。サッカー部やラグビー部、陸上部の担当の先生からも「今日はどこで練習?」と声をかけられるようになり、「よくやってるね」との声が聞かれるようになりました。そして、ついに部昇格の条件となる実績を築き上げ、全校生徒や先

生たちの間で「野球同好会が頑張ってるな」という空気が広まりました。

確か、高校2年の秋ごろでした。顧問から「職員会議で野球同好会から野球部への昇格議題が取り上げられる」との話があり、ここを通過しないと次に進めない最重要なフェーズで、私たちは、会議の様子をなんとか外から聞こうと試みましたが、ほとんど聞こえず、それでも祈るような気持ちで耳を傾けていたことを覚えています。

そして次のステップが訪れました。全生徒に向けた承認発表会?が体育館で行われ、「甲子園を目指させてください!」という意気込みを伝えると、全校生徒から多くの拍手が湧き上がり、ついに野球部として承認を得ることができたのです。一つ上の先輩たちがまだ在籍している間に部昇格が実現し、本当に嬉しく、先輩たちの想いが実り、喜びが広がりました。

その後、高野連への登録が進み、高校2年生のうちに正式に野球部が発足しました。初めての公式戦は、2年生最後の春休みに相洋高校の穴部球場で始まり、高校3年の4月からは、新入部員やマネージャーも加わり、西湘グラウンドの狭い場所での練習や外部での練習が続ぎ、夏の大会に向けて練習を重ねました。その間、野球部創設のストーリーに興味をもったNHK FMや朝日新聞などの取材もあり、西湘高校が県西地区でも野球の強さでない盛り上がりが出てきたのです。

そして、6月下旬、夏の大会の抽選会が横浜開港記念会館で行われました。TVKテレビ中継や横浜スタジアムでの試合が私たちの憧れで、仲間や先輩、そして拍手をしてくださった西湘高校のみなさんへの恩返しのために、何とかしてそのどちらかを実現しようと決意していました。抽選会の早朝には、神社にお参りにも行き、抽選会当日、約160校中かなりの後半でくじを引くことになりました。だんだんと希望の場所が減っていく中で焦りが募りましたが、抽選箱に手を入れ、残り1つの横浜スタジアム戦をビンゴ!最高の逆転気分でした。

試合は、地元の吉田島農林高校との対戦で、初出場で初勝利を収め、2回戦は鶴嶺高校に敗れ、西湘高校野球部の1年目のドラマはこうして終わりました。



同窓会報第 13 号

飛 躍

発行：神奈川県立西湘高等学校同窓会 発行責任者：会長 古川達高 発行日：2025 年 4 月



「^みき^き神酒の海（Mare Vaporum）」
をご存じでしょうか?

小岩井愛子（15 回生）

この海は、月面（左上写真の右下方赤丸部）に広がる場所です。
実は、私が経営に携わる株式会社コイワイが製造した3D金属プリンタ製の部品が、
今そこに静かに眠っています。



皆様も記憶に新しいかと思いますが、2024年1月20日未明、JAXAの月面探査機SLIMが世界初のピンポイント着陸に成功しました。この探査機の着陸脚の先端には、スポンジ状のアルミニウム製部品が5個取り付けられています。この部品は3Dプリント技術によって製造された金属ラティス（格子）構造体で、半球状の形をしています。着陸時には自らが潰れることで衝撃を和らげ、SLIMの着陸成功に大きく貢献しました。3Dプリント技術は、軽量かつ高耐久で、カスタマイズ性にも優れ、宇宙開発のよ



JAXA からの感謝状
(このとり7号地球帰還カプセル)

うな過酷な環境に最適な製造方法として採用されました。

コイワイは2007年に業界に先駆けて3Dプリント技術を導入し、2012年からはJAXAの複数のプロジェクトに参画してきました。2018年11月には、国際宇宙ステーション（ISS）から地球に帰還する「このとり7号」の帰還カプセル用推進装置に採用されました。また、2022年12月には、JAXA初の月面着陸を目指した「おもてなしプロジェクト」（残念ながら着陸は失敗）にも参加し、実績を積んでいます。

当社は鋳造業ですが「型にはまらない鋳物屋」を掲げ、常に新しいものづくりに挑戦しています。そんな鋳物屋が造った製品が、今、月の海で静かに佇んでいるのです。どうか皆様も、静かな月夜に杯を傾



JAXA からの感謝状（SLIM）

けながら、遠く月面で眠るSLIMに思いを馳せていただければ幸いです。そして、そう遠くない未来、再び人類が月面に立ち、私たちの挑戦の足跡を見つけてくれる日が訪れることを心から願っています。

学年同窓会、クラス会、イベント開催
お手伝いします

会場手配、開催案内作成・送付など企画運営をお任せください

広告代理店 / 印刷
株式会社スクラム

Tel&Fax. 0465-20-6780
seto@scrum5.co.jp
http://scrum5.co.jp



令和 7 年同窓会総会を開催します

ー令和 7 年 5 月 25 日（日）に母校で開催ー



令和 7 年総会

日時：令和 7 年 5 月 25 日（日）

午前 10 時～11 時 30 分

＊9 時 40 分受付開始

場所：西湘高校 A 棟 3 階 大会議室

＊正面玄関にて受付を行います

＊駐車場には限りがありますので、出来るだけ公共交通機関をご利用ください

総会参加方法

1. 会場にお越しいただきご参加いただく場合

申込の必要はありませんが、ご参加多数の場合は、ご入場をお断りする場合がありますので、予めご承知おきください。

2. Zoom でご参加希望の方

5 月 22 日までに下記へメールにてお申し込みください。25 日までに必要事項をメールにて送信させていただきます。

申込アドレス： seisho@scrum5.co.jp

3. ご意見・ご提案をいただく場合

ご意見やご提案がある場合は、5 月 24 日までにメール、連絡ハガキ、HP からご意見等をお寄せください。この場合は、総会での議決権はありません。

昨年に引き続き、多くの会員に審議にご参加いただきたいので、会場にお越しできない方もご参加できるように、Zoom によるリモート参加いただけるよう、準備しております。

Zoom でのご参加を希望される方は、左記の方法により、参加登録等をお願いいたします。

事前にご意見を賜りたいと思います。電話やメールでのご意見等も受付しておりますので、多くのご意見をお寄せください。

今年も、総会終了後に「縁 joy 西湘」を開催いたします。在校生の部活披露や同窓生のバンドによる演奏、焼きそばやおにぎり、ホットドッグなど軽食も用意しています。＊内容は当日変更の場合があります。

「卒業以来、学校に行ったことが無い」「久しぶりに母校を見てみたい」と言うかたは、この機会にご来場ください。役員一同お待ちしております。

総会議案

第 1 号議案 令和 6 年度会務報告

第 2 号議案 令和 6 年度会計報告
および会計監査報告

第 3 号議案 役員改選

第 4 号議案 令和 7 年度会務計画（案）

第 5 号議案 令和 7 年度予算（案）

第 6 号議案 その他

＊令和 6 年度会計報告、令和 7 年度予算案の概要は右記のとおりです。詳細は、総会当日に資料を配布いたします。

令和 6 年度会計収支報告（概要）

収入の部

前年度繰越金・・・2,200,743 円
新入会金・・・339,000 円
会員年会費・寄付・・・2,315,000 円
会報協賛金・・・325,000 円
寄付金・・・47,057 円
雑収入・・・926 円
合 計・・・5,227,726 円

支出の部

行事費・・・50,292 円
役員会・幹事会費・・・2,430 円
事務費・・・137,500 円
印刷費・・・17,600 円
通信費・・・31,770 円
HP 管理費・・・51,993 円
会報発行費・・・2,191,200 円
在校生活動援助費・・・90,000 円
卒業対策費・・・86,000 円
記念事業積立金・・・100,000 円
活動援助対策費・・・30,000 円
雑費・・・15,235 円
合 計・・・2,885,420 円
次年度繰越金・・・2,342,306 円
記念事業積立金残高 3,122,054 円

【第 3 号議案】新役員候補

会 長 田中 保行（15 回生）再任
副会長 阿久津 真理子（9 回生）留任
天野 達哉（18 回生）新任
武松 忠（25 回生）新任
会 計 岸 広久（18 回生）再任
井上 雄一（27 回生）留任
幹事長 綱島 敦子（7 回生）新任
書 記 岩瀬 光三（8 回生）留任
石川 京子（20 回生、広報担当）留任
前田 雅治（20 回生、HP 担当）留任
高梨 幹也（24 回生）留任
露木 善久（26 回生）新任
實方 かおり（29 回生）留任
南雲 久和（33 回生）新任
会計監査 瀬戸 静雄（8 回生）留任
佐々木 ナオミ（29 回生）留任

【第 5 号議案】

令和 7 年度 予算案

収入の部

前年度繰越金・・・2,342,306 円
新入会金・・・300,000 円
会員年会費・寄付・・・2,160,000 円
会報協賛金・・・325,000 円
寄付金・・・30,000 円
雑収入・・・1,000 円
合 計・・・5,158,306 円

支出の部

行事費・・・300,000 円
役員会・幹事会費・・・10,000 円
事務費・・・165,000 円
品 費・・・10,000 円
印刷費・・・30,000 円
通信費・・・40,000 円
HP 管理費・・・90,000 円
会報発行費・・・1,600,000 円
在校生活動援助費・・・300,000 円
卒業対策費・・・90,000 円
記念事業積立金・・・100,000 円
活動援助対策費・・・150,000 円
雑 費・・・30,000 円
備 費・・・2,243,306 円
合 計・・・5,158,306 円
記念事業積立金残高・・・3,222,054 円



松永記念館



かまぼこちくわづくり体験

同窓生と現役生徒が集う交流イベント

縁 joy 西湘 ～ ReStart ～

今年も開催！現役生と同窓生の交流、同窓生同士の再会、懐かしの校舎・グラウンド散策など。西湘高校を楽しむ 1 日！

日時：5 月 25 日（日）同窓会総会終了後 12 時～15 時

場所：西湘高校中庭

【ステージ】

現役生徒による部活発表

同窓生バンド出演

Sound Craft、ディジュミ

【飲食】＊無料

焼きそば / ホットドッグ / おにぎり

ソフトドリンクなど



2025 年度 親睦旅行についてのお知らせ

毎年実施していたバス旅行ですが、近年の料金騰等により参加者が減少していました。

そこで、今年度からはそれに代わる企画を検討しようということになりました。

今年度については、下記のツアーを予定しています。

記

ミニハイキングと鈴廣かまぼこ工場の見学と体験

（1 時間 30 分ほど板橋【松永記念館、皆春荘】を見学と散策後、鈴廣かまぼこ工場見学・かまぼこちくわ作り体験、ピュッフェ会食）＊鈴廣の見学と体験のみの参加も可能です

＊ミニハイキングに参加しない方は、風祭の鈴廣へ集合となります。

参加費用 4,500 円（税込み）

かまぼこづくり体験・昼食代を含みます

実施日時 11 月 9 日（日） 9：00 集合
（箱根板橋駅前広場集合）～14：00

申し込み ホームページよりお申し込みください。
（9 月以降申し込み開始予定）

なお、来年度以降につきましては、次号会報「飛躍」・ホームページ等にてお知らせします。お楽しみに。

2025 年度 主な行事予定

令和 7 年 4 月 8 日（火） 69 回生入学式（315 名入学）

令和 7 年 5 月 25 日（日） 令和 7 年同窓会総会
午前 10 時より 西湘高校 A 棟 3 階 大会議室にて
縁 joy 西湘を開催

令和 7 年 6 月 4 日（水） 西湘高校体育祭（予備日 5、6 日）

令和 7 年 8 月 30 日（土） 西湘高校文化祭（一般公開日）

令和 7 年 11 月 9 日（日） ミニハイキング

令和 8 年 1 月 11 日（日） 新年会

令和 8 年 3 月 上旬（卒業式の前日）
67 回生同窓会入会式

令和 8 年 3 月 上旬 67 回生卒業式

令和 8 年 5 月 31 日（日） 令和 8 年同窓会総会

役員会（6 回）・・・4/13（日）、7/13（日）、9/14（日）、
11/9（日）、1/11（日）、3/15（日）

<https://www.kojipro.com>

小島知心

LP ガス・灯油・電力小売・ガス機器
住設機器・上下水道他設備工事
太陽光発電・リフォーム工事

（株）小島商事

〒256-0811 小田原市田島 1185

TEL 0465-42-0342

FAX 0465-42-0363

小島知心



かねや、質の良いお魚を
お届けする魚問屋です。

株式会社かねや
小田原市早川 1-10-1
電話 0465-24-1804

社会貢献 社会実装
地域をリハビリテーションする会社

ARS

有限会社 足柄リハビリテーションサービス

代表取締役 露木 昭彰（29 回生）

神奈川県小田原市堀之内 218-3 TEL 0465-39-3730

訪問看護 訪問介護 通所介護 児童向け支援事業 地域支援事業
講師依頼 医療介護コンサル 観光事業

15 回生 (1974 年卒業)

15 回生の学年同窓会を開催いたします。

開催日：10月25日（土）16:00～19:00

会 場：レストラン レガロ

小田原市栄町2-7-30 みのさん第一ビル2階

会 費：未定

申込はこちらへ→



連絡先 0465-22-1343

15回生同窓会事務局（エコール学院内）

20 回生 (1979 年卒業)

2022年11月以来の学年同窓会を開催します。ご参加をお待ちしています。

開催日：2025年11月1日（土）

会 場：小田原

*詳細は決まり次第、お知らせします。

問い合わせはこちらへ →

20回生同期会学年幹事



24 回生 (1983 年卒業)

24 回生（昭和39年～40年生まれ）の皆様
学年同窓会のお知らせです。

開催日：2025年10月4日（土）13:00～

会 場：小田原 万葉の湯

会 費：未定

お問い合わせは

seisho24kaisei@gmail.com

代表幹事：高梨幹也 / 平澤美鈴（旧姓 伊藤）



25 回生 (1984 年卒業)

25 回生（昭和40年度生まれ）学年同窓会
を開催します。

開催日：2025年10月4日（土）

詳細は LINE グループ「西湘赤いちゃんちゃんこ」
にてお知らせします。QRコードで登録してください。

グループ管理者は、桜井昭弘です。

その際、3年時のクラスと氏名を
お知らせください。

例 3〇R 氏名（旧姓）



縁 JOY 西湘 2024

～令和6年5月26日開催～



コロナの流行により開催を見送っておりましたが、5年ぶりに「第5回縁JOY西湘」を開催することが出来ました。

5月26日（日）10時からの同窓会総会に続いて12時よりスタートしました。当日は晴天に恵まれ5月にしては少し暑いぐらいの陽気の中での開催となりました。

今回の開催テーマは「再出発（ReStart）」としてコロナ禍を脱してからの同窓会活動の再開への意気込みを込めたものでした。

ミュージックステージ、昼食提供、交流広場を中庭のオープンエアにて開催しました。ミュージックステージには4組の同窓生に出演頂き、とても素晴らしく楽しいステージでした。

会場には部活動で来校していた現役生徒や同窓生が多く集い、交流を深めていました。現役生の食欲によるものか、おにぎりは100ヶ、焼きそばは140食、他ホットドックも残さず参加者のおなかに収まりました。

終盤にはお楽しみ抽選会も行い、多くの同窓生より景品提供を頂いたおかげで皆さんの歓喜・笑顔で終始楽しい会となりました。

開催に際し同窓会有志、役員の皆様のご支援、ご協力により盛大に開催する事が出来ました。

大変ありがとうございました。

親睦バス旅行を実施

～令和6年11月10日～



11月10日（日）、麻布台ヒルズと東京都庭園美術館の見学会を28名で開催しました。麻布台ヒルズでは8回生の高橋史郎さん（森ビルOB）に案内していただき、スカイロビーで森ビルの歴史や再開発についてお話を伺いました。その後、京橋でつゆしゃぶ料理の昼食を楽しみました。

次に、豊洲の千客万来を訪れ、外国人観光客の多さと高額なランチ料金に驚きました。続いて東京都庭園美術館（旧朝香宮邸）を見学し、重要文化財の建物と

第2回

同窓会 湯河原・真鶴・熱海支部

「西粋会」親睦会

～令和6年7月7日に開催～

西粋会 会長 渡辺修一



2019年6月に会が発足してから5年間、新型コロナウイルス感染症が流行し熱海市伊豆山の土砂災害もございました。そのよ

うな状況に陥り一時、会を休止しておりましたがコロナウイルスの感染も次第に納まり、感染分類が2類から5類に変更されました。まだまだコロナ陽性の患者さんはいらっしゃいますが、この度『西粋会親睦会』を開催することができました。第1回目の出席者は70名で今回は29名ですと少数精鋭となりましたが、同窓生で楽しいひと時を共有して、さらに親睦を深められたら幸いと願っています。

令和6年7月7日七夕の日、彦星と織姫が出会う日でシングルの皆様にも西粋会を通して素敵な出会いがあれば嬉しいと思います。そんな中で会員の個人的なエピソードですが34回生の浅井孝宏君が今月結婚をするという嬉しいニュースが届きました。おめでとうございます！お幸せにです。

尚、この会を催すにあたり準備に当たって頂いた幹事・役員・スタッフの皆様へ心より厚く御礼・感謝の意を申し上げます。少ない時間ですが有意義な会にいたしましょう。

どうもありがとうございました。

アール・デコ様式の美しい装飾を堪能しました。帰りに海老名サービスエリアでメロンパンや東京土産を購入し、バスの中でも和やかに過ごしました。

今年はバス旅行は行わず、小田原市内を巡ろうと考えています。詳細はP3をご確認ください。

5 年ぶりに新年会を開催

～令和7年1月19日～

2025年1月19日（日）に幹事会、役員会を行い、終了後に小田原市内で新年会を開催しました。5年振りの開催となり、今回は18名が参加、こじんまりとした新年会になりました。



和気あいあいの雰囲気でおしゃべりとお食事を楽しみ、参加された方々からは近況などのお話や昔話などに花が咲きました。



「同好のみんな」集まれ～!!



“縁 joy 西湘”のもと同窓生の親睦・交流を目的に同じ趣味を持った同窓生が集まる、様々な愛好会（サークル）の創設を検討しています。

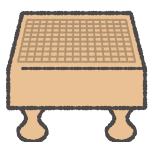
既にゴルフ部は何度か同窓生ゴルフコンペを開催していますが、その他下記のような趣味を持つ方を募っています。

ご興味のある方は是非同窓会事務局までご連絡ください。

- ・カメラや写真
- ・ハイキング、山登り
- ・キャンプ
- ・ジョギング、マラソン
- ・囲碁、将棋
- ・カラオケ
- 等

その他の趣味でも結構ですので、仲間を募りたい方はご連絡をお待ちしています。またゴルフ部への参加を希望する方もご連絡お待ちしております。

連絡は、同窓会ホームページのお問合せより→



7回生 第7回同期会を開催しました



私たち第7回生は令和6年10月25日小田原お堀端コンベンションホールで、77歳の喜寿を記念して第7回同期会を開催しました。特に今回は、7並びで縁起の良い同期会という印象を出席者の誰もが感じていた様子でした。前回の同期会は7年前70歳の古希を祝って開催し、参加者数は68名でした。今回は60名で北は北海道、西は兵庫県から出席していただきました。7年前と比較してそれ程出席者が減っていないことを考えると、同期の仲間が健康であるということで、喜ばしい限りです。会場では、クラス毎のテーブルに分かれ、飲食しながら旧交を温めました。高校時代の思い出やこれまでの77年を振り返り心に残った出来事などを語り合い、大いに

盛り上がり、時間が進むにつれ席を移動し、クラスの枠を超えあちこちで談笑の花が咲きました。また、修学旅行や球技大会など高校3年間の映像が数々映し出されると、若さ溢れる青春時代にタイムスリップしたかのように思われ、高校時代の自分に重ねている皆の笑顔がとても印象的でした。終盤には、参加者の多くから同期会は元気なうちに、1年か2年後、あるいは80歳の傘寿を記念して開催するのはどうかといった意見が出され、次回の開催を期待する多くの声を聞き、嬉しく感じたところです。お開きでは全員で校歌を3番まで高らかに歌い上げ、記念撮影をして2時間半余りの喜寿記念同期会を終えました。この度の集いが新たな思い出として同期生の心に刻まれたのではないのでしょうか。今回は、各クラスの幹事が昨年3月から数回の打ち合わせ会をもち開催に至ったものです。各幹事の皆様には本紙面をお借りして感謝申し上げます。

7回生 第7回同期会幹事代表 小澤功明



14回生 古希同期会



今年、古希を記念して開催した同期会、令和6年10月14日（月・祭日）15時から19時、小田原市のレストラン「レガロ」で行いました。56名が参加しました。日程だけは1年前に決定し、4か月前から幹事たち、数人と打ち合わせを開始、古希ということで2年前に開催した同期会から近いこともあり、新たな企画としてお楽しみ抽選会を盛り込むことにしました。事前にLINEで仲間を積極的に集め情報交換に役立てることが出来、当日は開始早々からクラスごとの会話に花が咲きそれぞれの席で昔話や近況（大体が介護と病気の話・友達の情報）の情報交換で盛り上がりました。会話が尽きない中でお楽しみ抽選会も持ち寄りの景品で盛り上がりました。後日、幹事の一人（プロのカメラマン）によるフォトブックが送られそれぞれLINEで楽しい時間の記憶を取り戻したようでした。やっぱり、高校時代の仲間は良いですね。ちなみに会費はフォトブック付き8,000円で開催することができました。

学年同期会開催に補助をします

学年同期会開催にあたって、費用の一部（通信費など）の補助を行っています。ぜひ、活用して、学年同期会を実施してみても、いかがでしょうか？

【補助金の申請】

①会報「飛躍」に開催の告知を掲載 ②学年同期会の幹事より、申請 ③補助金は申請者に振込みます。

【補助金額】

¥10,000 記念開催(※) ¥30,000

(※) ①卒業後の周年（10周年、20周年、30周年、40周年、50周年、60周年） ②長寿の祝いの年齢（還暦、古希、喜寿etc）

【申請期限】同期会開催後1ヵ月以内まで。事前に申請でもOKです。

【開催の報告】開催の様子は写真と文章で会報に紹介します。

11回生 同期会を開催



2024年10月20日に富士屋ホテル湯本にて第6回11回生同期会を開催いたしました。1951年生まれの私達も今年度73歳になります。今回は私達同期に314人に通知を出し、80人の参加者で盛大に賑やかに開催出来ました。先生も3人、32R大沢、37R吉野、38R斎藤の各担任の先生に参加していただきました。特に90歳を越えた吉野、斎藤先生は高齢で身体に負担をかける状況で参加頂き、同期の参加者全員が感謝しました。今回の同期会も大変盛り上がり、楽しい時間を持つことが出来ました。参加した者同士の会話もはずみ、自分たちの若いころに帰り、なつかしい青春時代を思い返していました。当日lineのグループを募集して50人以上が参加、写真の受け取りなど可能にしました。時代の流れを感じます。今回参加で一番遠くからは長崎県からまた神戸から女性2名の方も参加してふるさとへの思いや旧友への思いを感じました。参加は関東の各県等に広がっており、立場や地域にそれぞれの人生を感じます。準備等について申し上げます。今回の同期会開催にあたり3月23日に幹事14名がすぐ参集し都合準備会4回で開催することが出来ました。

苦手克服の経験が探求心を育ててくれた

最勝寺朋子（さいしょうじともこ）



49回生。鳥取大学で地域環境学を学んだ後、6年間記者として(株)タウンニュースに勤務。デビュー作『しらすどん』（岩崎書店、2021年）は第14回ようちえん絵本大賞理事賞を受賞したほか、神奈川県・岩手県・埼玉県の推薦図書に選出された。2作目の絵本『犬ずもう』（めくるむ、2023年）は第1回マルジナリア書店絵本大賞を受賞した。「写真の琥太郎(こたろう)くんは私の愛犬ではなく、『犬ずもう』のモデルになってくれたワンちゃんです。」



西湘高校での思い出

私は幼い頃からよく転ぶ子で、50m走でも毎度途中で転んでしまうほどの運動音痴でした。しかし高校入学時、同じ中学校出身の友達にソフトボール部に誘われたことをきっかけに、私は「高校生の間に運動音痴を克服しよう」と決めました。入部してみると、先輩はみなさん魅力的でやさしい方ばかりで、1年生の1学期、キャッチボールで相手に球が届かないような私のこともあたたかく見守ってくれました。

そんな折、秋の体育祭に向けて出場選手を決める話し合いがクラスで行われました。各種目の選手がどんどん決まってく行く中、スウェーデンリレーの第4走者だけが決まっていなかった。スウェーデンリレーでは第一走者が100mを走り、第二走者が200m、第三走者が300m、第四走者が400mを走ります。誰も400mは走りたくなかったのです。それまでこういう話し合いとは無縁だった私はぼうっとしていたのですが、気づけばクラスの中で選手になっていない運動部員は私だけになっていました。出会って間もないクラスメイトたちは私かどこまで運動音痴か知らぬまま、運動部員というだけで私に第四走者を依頼してきました。まさか目の前の運動部員が400mはおろか50mすら転ばずに走り切れたことがないとは思わなかったのでしょうか。「いや、私本当に足が遅くて」という私の言葉は謙遜と受け止められ、私は第四走者に決まってしまいました。それから、私は部活の放課後練習の後グラウンドで走る練習を始めました。400mは思っていたよりも持久力を求められる長さでした。長距離走のような走り方なら転びませんが、のんびりしていたらほかの組に抜かされてクラスの皆をがっかりさせることになります。中学時代に陸上部で中距離走者だったという友達にコツを教えてもらったり、通りかかった野球部顧問の先生がアドバイスしてくれたりして、自分にとって最速で400mを走り切る練習を続けました。

次第に足が慣れてきて、転ばずに走れるようになってきたある日、夜の散歩道で愛犬と全力疾走する練習をしていたら、ふと自分の足が今までにない速さで動く瞬間がきました。体が軽くなって、風を切る心地よさを感じた時は感動しました。ただ人並みに走れるようになっただけなのですが、途中で躓かず

に、自分の最速で走れたときの爽快感は今も覚えています。

体育祭の本番、私は第三走者のクラスメイトからバトンを受け取りました。毎日練習したグラウンドで、練習の通り、自分にできる最速で走りました。私たちの組は一番ではなかったけれど、私は誰にも抜かされずにゴールしました。まわりの人からしたら何の印象にも残らない、運動部員にしては足の遅いアンカーだったと思いますが、私にとってはリレーのアンカーを走るなんて、人生で初めての特別な瞬間だったのです。

そのあと、私の運動神経は飛躍的に伸びることもなく、ソフトボール部員としては3年間ポンコツでしたが、運動することが前よりもずっと好きになりました。絵本の絵を描くには、世の中に存在するあらゆることを描く必要はありません。そういうことを語るにはまだ私は半人前だとは思いますが、半人前だからこそ、できるだけ多くのものを知り、理解していく必要があるのではないかと考えています。高校時代に運動への苦手意識を克服できたことは、今私が仕事をする上で、畑違いの事柄に対しても拒否感を抱くことなく、探求心や好奇心を持って取り組んでいることに、少なからず繋がっているのではないのでしょうか。苦手を克服しようともがいていたあのとき、西湘高校で私を励まし導いてくださった先生方や先輩、同級生のみなさんに感謝の気持ちを伝えたいです。

同窓のみなさんへの感謝

絵本が出版されてから、西湘高校の同窓生の方々や先生方が拙著を手にとってくださったたり、原画展に足を運んでくださったたり、大変ありがたく思っています。

2021年夏に神保町の児童書専門店での『しらすどん』原画展に西湘高校出身の方が来てくださいました。その方が働いていらっしゃる豊洲市場での原画展を提案してくださり、その冬に実現しました。

また、2024年夏に『犬ずもう』の原画を鴨宮駅前のスタジオ「かもすた」に展示して頂いた際には、高校時代の同級生たちが観に来てくれて再会できたことが嬉しかったです。

最近の仕事

次の絵本に向けて取材を進めるほか、出版社の編集者との打ち合わせをしています。今は『犬ずもう』関連のイベントや原画展を本屋さんなどで企画頂いているので、そこでお話もさせて頂いています。

先日は埼玉県の小学校にオーサージット（著者が学校を訪問して本の魅力を伝える事業）で呼んで頂き、たくさんファンレターを頂きました。自分が描いたものが出版物になるというのは大きな緊張感を伴うものですが、私が作った絵本を「だいすき」「せかいいちのほんだよ」と言ってくれる子どもたちのあたたかなメッセージは大変心に沁みました。

春以降のイベント情報

犬ずもう原画展 川越場所2025年4月5日（土）～5月11日（日）コネコノヒタイ（埼玉県川越市）お近くの方は、ぜひ、のぞきにいらしてください。



県庁での勤務を振り返って

～未来を担う同窓の皆さんへのエール～



公益財団法人神奈川産業振興センター
理事長 武井 政二 (18回生)
(前 神奈川県副知事)

18回生の武井です。今回、同窓会からの依頼を受け、寄稿させていただくことになりました。母校を卒業して既に半世紀近く。長らく奉職した県庁での勤務を振り返りながら、仕事に対する思いを綴ってみたいと思います。

私は、山北町の小さな集落で生まれ育ち、昭和49年に西湘高校に入学しました。出身は清水中学校です。既に廃校になってしまいましたが、1学年30人程度の小規模校で、幼稚園から中学卒業までほぼ同じメンバーでした。こうした田舎の環境で育ったため、西湘高校入学時は人数の多さに圧倒されたのをよく覚えています。

大学では法律を専攻し、それを活かしたいという思いもあり公務員試験を受け、昭和57年に神奈川県庁に入庁しました。担当時代の職歴は税務課と知事室の勤務が長く、その後、保健福祉局長、総務局長などを経て令和2年から4年間副知事を務めさせていただきました。通算42年に及ぶ県庁勤務では、津久井やまゆり園事件や新型コロナ対策など様々な課題に対応してきましたが、そうした経験から実感として得られたのは、与えられた仕事に真正面から向き



つながるというものです。

社会人生活を送る上では、時に希望に沿わない部署に配属されたり、荷が重い仕事を任されたりすることがあると思いますが、どんな職場、仕事であっても、そこにはそれぞれの役割や価値があります。任された以上はそれを自らの天職と割り切って、真正面から向き合い、誠心誠意やり切る努力を重ねていけば、その先には必ず成果が見えてくるはずです。そして、そうした努力と成果の積み重ねが、知らず知らずのうちに自らを成長させてくれると思います。私は、長い公務員生活の中で幾度となくそれを実感してきました。

若い同窓の皆さんの中には、キャリアプランに悩んでいる方も大勢いると思いますが、足元を見つめ、今の仕事としっかり向き合うことで、また違った景色が見えてくるかもしれません。置かれた場所で、根の張った素晴らしい花を咲かせるのも大切なことです。

同窓の皆さんのご活躍を心からお祈りしています。

合うことの大切さです。
県庁の先輩から教えを受けた言葉で、「現職が天職」という言葉があります。その趣旨は、現職、つまり今の仕事を天職と思い、誠心誠意その仕事に取り組むことで道が開かれ、自らの成長に

演劇部の思い出

矢作 加代子 (16回生)

高校生活3年間の思い出イコール演劇部、と言っても過言ではない程演劇部漬けの毎日でした。もちろんクラス仲間と過ごした時間、個性的な先生方の授業、恋もしたし、日々起きる事件も色々と思ひ出されます…。が、なんと言っても体育館ステージの下手側、緞帳の奥にあった部室こそが高校生活の中心だった所です。決して緩い場所ではありません。どれだけ涙したかわかりません。芝居の稽古ともなると、先輩たちは私にとって「神」と化し「世界のニナガワ」ばりにスリッパが飛び交い(優しいから決して当てない)ダメ出しに至っては、下手すぎて口きくのも勿体無いと、×印の札をだされたものです。でも稽古が終わるとそこはアメとムチ、ギターの弾き語りを聴かせてくれたり「お団子友の会みよしの」と称し食べに連れて行ってくれたものです。

今の自分の成り立ちのソコココは、間違いなくあの時代に培われたものだと思っています。物事の見方を、人との交わり方を、事の善悪(先輩達はヤンチャでした)を、生きていく上で大切な事を、言葉ではなく、その背中でもなく…(えっ、じゃどこ?…)毎日当たり前の様



2011年OB会

に通ったあの体育館のステージで自分でも気づかずに学んでいたのだと思います。

卒業してから50年余り、部活動の在り方も変化し、近年は各大会に「演劇部」としても「個人」でも挑戦、映像部門、朗読部門、の中で各賞を受賞、素晴らしい活躍をされています。その審査はプレゼンの方法、内容、資料の出来が審査されるという、もちろんデジタル駆使の資料作りになる訳で、アナログ16回生には思いもよらない「演劇部」なのです。

半世紀も経てば変化は必然、変わらないのは、芝居好きが集まって、皆でひとつの芝居を作り上げる過程と結果から得られる何にも変え難い「喜び」でしょう。今は専ら観る側ですが、それもまた楽し！
「演劇部」バンザイ！



大切なのは興味のあることに 挑戦し続けること

石塚 慶 (63回生)



私は大学で力学、特に車両運動について学んでいます。車両の安定性や操縦性は理論だけでなく、実際に可視化・体感できる点に魅力を感じ深く興味を持っています。現在、車両運動・制御研究室のゼミに参加し、「前後力によるロール角制御が可能な車両」の制作に取り組んでいます。4月からは卒業研究も始まり、これまで学んできた知識



を応用できることが楽しみです。

高校2年次の文化祭ではジェットコースターを制作しました。先生やクラスメイトと試

行錯誤し、多くの人が楽しんでくれた時、「モノづくりって楽しい!」と感じたことがきっかけで工学系に進みました。進路選択に迷うこともあるかもしれませんが、大切なのは興味のあることに挑戦し続けること。大学は好きなことを好きなだけ追求できる場所です。夢がある人はその道へ、まだ見つかっていない人も様々な経験を積む中できっと出会えるはずです。



小田原シネマ館
社長 古川達高さん
(14回生)

2024年3月、小田原駅、錦通り近くに「小田原シネマ館」がオープン。40席のミニシアターサイズ、臨場感のある映画館を切り盛りする社長として活躍をされているのが、西湘高校同窓会会長・古川達高さん(14回生)。小田原で20年振りにオープンした映画館とともに、「映画の街・小田原」の賑わい創出にも尽力されています。



「卒業生で初、国会議員に」

佐々木ナオミさん(29回生)が、2024年10月に行われた第50回衆議院選挙で当選し、西湘高校卒業生で初の国会議員となりました。

和光大学卒、大手学習塾勤務、学習塾経営(現ササキ塾)を経て、子育て中の37歳のときから小田原市議会議員を3期12年、その後2期5年の神奈川県議会議員をつとめ、衆議院議員となりました。お祝いの気持ちを表すとともに、これからのご活躍を見守っていききたいです。

Pantry
小田原百貨店
http://www.odawara100.com

(株)箱根観光旅館協会
今日の宿を電話で
即答します。
TEL 0460-85-6777
9:30 ~ 20:00
桜井昭弘(25回生)

湯河原駅前通り明店街
補聴器・時計
メガネの三洋
【国家検定】1級眼鏡作製技能士
認定補聴器技能者
原田伸一(28回生)

箱根吉田整形外科
院長 吉田知司(9回生)
診療科目
整形外科、リウマチ科
リハビリテーション科
足柄下郡箱根町湯本 498-9
Tel: 0460-85-8506

渡辺耳鼻咽喉科
アレルギー科クリニック
院長 渡辺 修一(17回生)
TEL 0557-81-6396
静岡県熱海市田原本町9-1
熱海駅前 第一ビル3F
http://www.watanabejibikajp.com

地魚のにぎりと和・美・食
に壽膳
KatsusUSHI
小田原市南町1-4-22
TEL 0465-22-4340
代表取締役 神保 正
Q 小田原 勝寿し 検索

